



2022年1月27日
JR東日本秋田支社

『あきた光のファンタジー2021』

プロジェクションマッピング新作の追加と過去作品の再投影について

JR秋田支社では、中心市街地の関係団体と連携・協力し、秋田拠点センターアルヴェからエリアなかいち・秋田キャッスルホテルにかけたエリアで冬の賑わいを演出する「あきた光のファンタジー2021」を開催しています。

秋田駅ビル「トピコ」壁面では、秋田公立美術大学の協力の元、プロジェクションマッピングを投影していますが、2月28日の開催終了のまでの間、新作を追加し、これまでの作品も再投影します。

1 作品概要

- (1) 作品名「かげ絵」(新作)
駅前ロータリーの歩行者を見立てたデジタル影絵を投影します。様々な形に影がモーフィングする、デジタルとアナログを融合した映像作品となっています。
- (2) 作品名「ファスナー」(2021年11月26日(金)～12月26日(日)まで投影)
ファスナーの開閉のモーションに合わせてデザインが展開していきます。「秋田竿灯まつり」や能代七夕「天空の不夜城」など、秋田の祭りから発想したグラフィックを映し出します。
- (3) 作品名「水槽」(2021年12月27日(月)～1月30日(日)まで投影)
ビルを巨大な水槽容器に見立て、液体が注がれたり洗われたりすることで映像が変化していきます。PCを使わず現物を用いて撮影することで特殊効果を生み出しています。



「かげ絵」(新作)



「ファスナー」



「水槽」

※画像は全てイメージです。

制作：秋田公立美術大学 萩原 健一 准教授 (ビジュアルアーツ専攻長)

萩原健一研究室 学生の皆さま

2 プロジェクションマッピングについて

投影場所：秋田駅ビル「トピコ」壁面部分

投影期間：2022年1月31日(月)～2022年2月28日(月)

期間中、17時から21時まで、3作品を10分間隔で投影します。

「ファスナー」→「水槽」→「かげ絵」の順で投影します。

3 新型コロナウイルス感染拡大防止のためお願い

- ・会場ではマスクの着用をお願いします。
- ・発熱または風邪の症状がある場合の鑑賞はご遠慮ください。